

「広がれボランティアの輪」連絡会議

30周年記念

ボランティア
全国フォーラム
2024

開催要項

2024年 9月7日土 ▶ 8日日

会場：東北福祉大学国見キャンパスほか（宮城県仙台市）

※初日のみオンライン参加可能



詳細はHPをチェック！

申込は2024年7月頃からを予定



【主催】「広がれボランティアの輪」連絡会議 / 全国社会福祉協議会

【共催】東北福祉大学

【協力】宮城県社会福祉協議会 / 仙台市社会福祉協議会

● 開催趣旨

1994年に設立された「広がれボランティアの輪」連絡会議は、ボランティア活動の推進・振興につなげるための環境・気運づくりを行っており、2024年に創設30周年を迎えました。そこで、日本の災害ボランティア活動の転機となった東日本大震災の被災地で、これまでのボランティア活動を振り返るとともに、明日のボランティアを考える機会といたく、「ボランティア全国フォーラム2024」を開催します。

● 参加対象者／定員

ボランティア・市民活動の中間支援組織、ボランティア・団体、学生等の実践者など500名程度

● 日時／会場

2024年9月7日(土) 13時～17時10分@東北福祉大学 国見キャンパス
【オンライン配信あり】

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

● 参加費

2日間参加:5,000円

1日のみ参加(1日目・2日目どちらかのみ参加):3,000円

オンライン参加(1日目のみ):5,000円

※学生の参加費は無料

交流会参加費:5,000円

(参加費・交流会取消料 : 8/21迄無料・8/22～100%必要です)

● 参加申込

下記の参加申込受付サイトからお申込みください。

団体でまとめてのお申込みも可能です。

申込に関する留意事項についても下記サイトをご参照ください。

申込締切日:8月16日(金)



URL: <https://www.mwt-mice.com/events/zenkoku240907>

※申込や参加費のお支払いについては参加申込受付サイトをご確認ください

● プログラム<1日目/全体会>

2024年9月7日(土) 13時~17時10分@東北福祉大学 国見キャンパス
【オンライン配信あり】

時間	プログラム
11時30分~13時00分	受付
13時00分~13時20分	開会式
13時20分~14時20分	【記念講演】 「私にできること」をつなぐ 村木 厚子さん (全国社会福祉協議会 会長)
14時20分~14時40分	休憩
14時40分~17時10分	【シンポジウム】 ボランティアは文化として社会に定着したか ~「広がれ」の実践を通じて語り合う~ <第1部:パネルディスカッション> <パネリスト> 阿南 健太郎さん (こども家庭庁) 永井 美佳さん (大阪ボランティア協会) 諏訪 徹さん (日本大学 教授) <コーディネーター> 上野谷 加代子さん (「広がれ」 会長) <コメンテーター> 山崎 美貴子さん (「広がれ」 顧問) 都築 光一さん (東北福祉大学 教授) <第2部:キーノートスピーチ+鼎談> <スピーカー> 久保田 翠さん (NPO法人クリエイティブサポートレッツ) 平沼 仁実さん (医師焼き芋@東京国分寺市) 藤原 睦己さん (NPO法人KEYS) 小田 若奈さん (中央共同募金会) <鼎談登壇者> 勝部 麗子さん (豊中市社会福祉協議会) 永田 祐さん (同志社大学 教授) 原田 正樹さん (「広がれ」 副会長)
17時30分~19時00分	【交流会】 ※申し込み制

● プログラム＜2日目／分科会＞

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第1分科会:学生ボランティアを展望する

<概要>

学生ボランティアの歴史は古く、わが国においても数多くの資料に記録が残されています。災害時のボランティア活動としては、磐梯山噴火の際の東京帝国大学の学生の取り組みや、明治三陸大津波における東北帝国大学の学生ボランティアの記録があるほか、看護学生の活動記録も散見されます。阪神淡路大震災から急速に広がった学生ボランティア活動は、その後東日本大震災にて活動の規模が拡大しました。また学生ボランティアの活動は、日常的な活動として福祉施設や地域活動、さらには手話サークルや公的機関等による社会実験や市民への啓発活動などさまざまな場において、学生ボランティアの活動の幅は広がりを見せていることから、より一層の参加しやすさが求められてきています。

そこで、本分科会では、学生ボランティア活動の参加のしやすさについて、その課題等について考えてみます。

<登壇者>

司会進行:金 義信さん(東北福祉大学 特任准教授)

実践発表者:伊藤芽依 さん(GENKIとどけ隊)

ほか<調整中>

コメンテーター:船渡 忠男 さん(東北福祉大学 教授)

<プログラム>

9時30分～ オリエンテーション

9時35分～ 第一報告

9時55分～ 第二報告

10時15分～ コメンテーターによるコメント

10時20分～ ワークショップ

11時20分～ グループ報告

11時50分～ コメント

11時55分～ 閉会

※プログラムについては調整中のため、変更となる場合がございます



● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第2分科会:プロボノの力

～専門性を活かした企業とボランティアのいい関係～

<概要>

本分科会では、「広がれボランティアの輪」連絡会議30周年を記念して、近年めざましい成果を上げている企業人のプロボノ活動について考えます。

プロボノに関心ある企業側、プロボノを受け入れることに関心ある市民活動側双方の思いを理解し、関係を構築するため、それぞれの先進的事例を共有しながら考えることで、プロボノが企業側、市民活動側双方にとって身近なものとなり、自分事として日ごろの活動に活かしてもらうための機会とします。

<登壇者>

コーディネーター:永井 美佳さん(大阪ボランティア協会)

実践発表者(予定):プロボノに実績のある企業関係者

プロボノの受け入れに実績のある市民活動団体関係者

<プログラム(予定)>

9時30分～ オリエンテーション

9時35分～ 企業概要説明

9時40分～ 「企業側」の事例紹介

10時00分～ 質疑応答

10時10分～ 「市民活動団体側」の事例紹介

10時30分～ 質疑応答

10時40分～ 休憩

10時50分～ グループ協議

11時50分～ まとめ



● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第3分科会:誰もが心地よく暮らせる地域づくり

～空き家リノベーションからエリア・リノベーションへ～

<概要>

地方都市の人口減少による地域課題の拡大には目を見張るものがあります。中でも増え続ける空き家は全国で900万戸。実に住宅全体の13.8%を占めており、解決すべく喫緊の課題の一つといえます。そんな中、政策での対応策として「空き家対策特別措置法」や「不動産登記法」の改正などがなされましたが、その内容は持ち主や地域住民等の自助や共助への期待が多いものとなっています。

そこで本分科会では、東日本大震災の津波被害というピンチをチャンスに変えるために、「直してみんか！」を合言葉に、有志や市民を巻き込んで歴史ある被災家屋の改修、空き家の改修等を通じて、住民主体による地域づくりに取り組み、エリア・リノベーションの推進を提唱する講師らを招き、それらの取り組みを事例に、誰もが心地よく暮らせる地域のあり方、それを作り上げるための人の参加やその仕組みづくりについて考える機会とします。

<登壇者>

司会・進行:上田 英司さん(日本NPOセンター)

実践発表者:豊田 善幸さん(中之作プロジェクト)

他、調整中

<プログラム>

9時30分～ オリエンテーション

9時35分～ 【実践報告】

創造的過疎対策～空き家再生から見える地域の未来～

10時35分～ 休憩

10時45分～ 【パネルディスカッション】

誰もが心地よく暮らせる地域づくりをいかに作るか？

12時00分 閉会



● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分～12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第4分科会:孤独や孤立をふせぐ豊かな地域づくり ～つながりを紡ぐボランティアの役割～

<概要>

「地域コミュニティの希薄化」が言われて久しいわが国ですが、コロナ禍によって「人と人とのつながりの大切さ」が改めて実感されたところです。その一方で、孤独・孤立を感じている人は増加傾向にあることが指摘されています。

「困っているがSOSを出せない人」「誰かに話したとしても解決しないと思っている人」等、悩みも多様であり、望まない孤独・孤立を抱える人に対しては、当人の想いを尊重した「寄り添うケア」が有効だと言われています。そのためには行政や専門職だけでなく「住民目線のさりげない声かけ」「つながり続ける」という視点を含めたNPOやボランティアの役割は重要で、活躍している例は多く見られます。

本分科会では、孤独・孤立の要因となり得るさまざまな社会的課題を取り上げ、地域やボランティアにはどのような役割が求められるのか等について、今後の取り組みへの意識共有を図っていきます。

<登壇者>

司会・進行: 高橋 良太さん(全国社会福祉協議会)

実践発表者: 荒川 陽子さん(NPO法人地域生活支援オレンジねっと)

石井 正宏さん(NPO法人パノラマ)

平野 寛治さん(全国食支援活動協力会)

<プログラム>

9時30分～ オリエンテーション

9時35分～ 【実践報告】

地域での孤独・孤立への対応とボランティアの役割

10時30分～ 休憩

10時40分～ 【グループワーク】

『地域(活動実践者、ボランティア等)が孤立しがちな人たちとつながりを創っていくためには、どのような働きかけを行い、どのような活動を展開していくことが、つながり続けるうえで有効なのか。』

11時35分～ 登壇者コメント・まとめ

12時00分 閉会

● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分~12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第5分科会:災害時のボランティア活動を考える

<概要>

阪神淡路大震災から急速に広がった災害時のボランティア活動は、その後の東日本大震災にて活動の規模が拡大していきました。現在では被災地域における復旧・復興において、なくてはならない存在になっています。しかし、2024年に発生した能登半島地震の最前線では、ボランティア活動のあり方や考え方も含めて、その様相がかなり変化してきています。

そこで、本分科会では、東日本大震災時にボランティア活動を支えた災害ボランティアセンターの取り組みや、その後の度重なる自然災害における災害ボランティア活動の取り組み、そして今現在も続いている能登半島地震の最前線での活動を報告するとともに、災害時のボランティア活動の進化や深化について考えていきます。

また、グループワークでは、災害時のボランティア活動に対する期待やこれからの活動について、皆さんとともに考えたいと思います。

<登壇者>

司会・進行:菅原 里江さん(東北福祉大学)

実践報告 :春 由美さん(仙台市社会福祉協議会)

加藤 大介さん(大崎市社会福祉協議会)

コメンテーター:阿部 由紀さん(BIG UP石巻)

清水 冬樹さん(東北福祉大学)

<プログラム>

9時30分 オリエンテーション・主旨説明

9時40分 【実践報告】

『東日本大震災における災害ボランティアセンターの取り組み』

『能登半島地震にみる災害ボランティア活動の現在地』

10時20分 コメンテーター発言

10時40分 【グループワーク】 と 【各グループからの報告】

テーマ

『災害時におけるボランティア活動のこれからを考える』

11時45分 報告者、コメンテーターのコメント、まとめ

11時55分 閉会(事務連絡)

● プログラム<2日目/分科会>

2024年9月8日(日) 9時30分~12時@東北福祉大学 ステーションキャンパス
【会場参加のみ】

第6分科会:【しゃべり場】

人生100年時代のボランティアを語り合おう!

<概要>

コロナで元気をなくしたり、メンバーの高齢化で先行きが不安になっているボランティア(グループ)の皆さん。それをどうサポートしたらいいのか悩んでいるコーディネーターの皆さん。せっかく久しぶりに全国から仲間が集まるのですから、こころゆくまで語り合いませんか?

活動を始めたきっかけ、乗り越えてきた壁、仲間と共有してきた楽しい時間、そして現在の活動のこと。「もう歳だから…」なんて謙遜せず、活動の意味や魅力やこれからのことをあらためて口に出してみるのもいいかも。ボランティアとコーディネーターが一緒になって、人生100年時代のボランティアの未来のこと、話しましょう。

<登壇者>

話題提供・ファシリテーター:小原 宗一さん(日本ボランティアコーディネーター協会)

<プログラム>

9時30分~ オリエンテーション

9時35分~ 【しゃべり場】

人生100年時代のボランティアを語り合おう!

(ボランティアに関わるトピックやデータなどを提供しながら
参加者同士が話し、聴き、共有する時間をつくります)

11時55分~ 閉会のことば



● 会場案内

【全体会(9月7日(土))会場】 東北福祉大学 国見キャンパス

〒981-0943 宮城県仙台市青葉区国見1丁目8-1

<仙台駅からのアクセス>

電車:JR仙山線「東北福祉大前」駅下車、徒歩5分

バス:西口バスプール9番のりばより、

「子平町→北山循環」行、「北山→子平町循環」行のいずれかに乗車
→「東北福祉大前」下車、徒歩0分

【分科会(9月8日(日))会場】 東北福祉大学 ステーションキャンパス

〒981-0943 宮城県仙台市青葉区国見1丁目19-1

<仙台駅からのアクセス>

電車:JR仙山線「東北福祉大前」駅下車、徒歩0分

バス:西口バスプール13番のりばより

「貝ヶ森・国見ヶ丘」行、「国見ヶ丘・中山台・実沢(営)」行、
「国見ヶ丘・中山台・泉ビレジ」行、「青陵校」行のいずれかに乗車
→「JR東北福祉大前駅」下車、徒歩0分

いずれの会場も駐車場はございません。公共交通機関でお越しください。

※主催団体による駐車場の紹介は致しません

● オプションツアーについて

フォーラム終了後に、地元団体による、現在の東北の復興の状況を学ぶオプションツアー(申込・料金別途)の企画も予定しています。詳しくは決まり次第随時、ホームページに掲載いたしますほか、参加申込者には、追ってご案内申し上げますので、ご関心のある方はぜひご予約ください。

● お問い合わせ

<本フォーラムの企画・プログラム等について>

「広がれボランティアの輪」連絡会議 事務局

(全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター)

Tel:03-3581-4656

Mail:vc00000@shakyo.or.jp

<申込について>

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター

TEL03-3595-1121 受付時間:月~金10:00~17:00